

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月28日

事業所名: 氷川学園児童デイサービス事業所風楽

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2 職員配置数は適切であるか	4		1療育原則5名の利用定員に対し、スタッフ3名体制をとっています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		それぞれのご理解の状況に応じた表示方法を行い、事業所内の環境設定を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		新型コロナウイルス感染等予防の消毒・換気の徹底や活動に合わせて、ホールを借りたり、屋外に出たりしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		毎月の職員会議で、職員全体で業務改善に向けた検討を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		ホームページへの掲載とご家庭への配布をおこなっています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				未実施
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		各々で研修会の情報収集し、積極的に参加したりしています。	
適切か	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		面談時にニーズに対する現状と療育時の様子、関係機関からの情報収集を行い作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		利用児の状況に応じて、随時アセスメントを行うことや医療機関等の結果を確認し把握するようにしています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		本人・ご家族のニーズと発達状況を把握しながらガイドラインに沿って組み合わせた支援をおこなっています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		職員会議(毎月1回)で次月分の話し合いをしています。	

支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		年間計画の立案から直前の再確認まで行い、当日のメンバーによって変更したりと臨機応変に対応しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		原則、個別活動・集団活動を一療育時に行うようにしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		ミーティングを毎日行い、次の取り組みを決めています。また、新たな活動時は、シミュレーションを行いスタッフの動き等確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		スタッフ全員参加し、改善点・良かった点を話し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		療育で取り組んだことをまとめて、記録し次回何をするかつなげています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		モニタリング作成から面談実施までのスケジュールを作成し、定期的に見直しの判断ができるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4		利用児の担当スタッフや児発管にて参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当する児がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当する児がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		未就園の児がいなかったため、移行支援は行っていません。	保護者からの要望があれば実施していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		要望・依頼があれば実施しています。	関係機関からの要望があれば実施していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		事例検討を行ない、専門機関から助言をいただいています。研修もスタッフの配置を調整し、参加できるようにしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		ほぼ全員が、保育所へ通園しているため相互交流の機会を得ています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4		圏域内の事業所で持ち回りで担当し参加しています。定期的な報告会で情報を共有しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		連絡ノートや月1回の親子療育の機会を利用しています。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		報酬改定等の際は、随時お知らせしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		保護者から相談があったら、その日に返事ができたら返事をし、後日返事をすることもあります。スタッフ間での意見も聞いて返事をすることもあります。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		今年度は、ほとんど開催していないが、オープン風楽、交流会を開いています。(今年度はコロナの為実施できず)	コロナの感染者数が減少した時に、感染対策を講じた上で少人数の交流会を行った
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		行事ごとにお知らせを出しています。定期の会報を年度途中から再開しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		個人情報、所外への持ち出し厳禁とし、メモ等にもご利用児の名前は、イニシャル等にて記入するようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		できるだけ連絡ノートに詳しく記載し、文章での表現が難しい場合は、電話で伝え、記録を残すようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		法人内事業所合同での行事を実施しています。(今年度は、中止)	
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		所内で訓練実施を行っています。	スタッフのみの訓練で、訓練後の保護者様への報告は行っていませんので今後、報告していくように検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		年3回期間を決めて年間計画に入れて、保護者様へお知らせし、実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		契約時や毎年一回の情報提供と変更時、速やかに情報提供をいただくように利用日を通じてやり取りをさせていただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	食物アレルギーのある児がいません。活動ごとに食事制限のある児については、保護者からの情報提供、許可を得て対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4	毎年ではないが、研修を行っている。	年間計画を行い実施につなげていきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4		該当する児がない





|